

(R5)

改 定	現 行	備 考
<p>第103条 受発注者の責務</p> <p>1. 受注者は契約の履行に当たって調査等の意図及び目的を十分に理解したうえで調査等に適用すべき諸基準に適合し、所定の成果を満足するような技術を十分に発揮しなければならない。</p> <p>2. 受注者及び発注者は、業務の履行に必要な条件等について相互に確認し、円滑な業務の履行に努めなければならない。</p> <p>3. 受注者は、測量業務の適正な実施のために必要な技術的能力の向上、情報通信技術を活用した測量業務の実施の効率化等による生産性の向上並びに技術者の育成及び確保並びにこれらの者に係る賃金、労働時間その他の労働条件、安全衛生その他の労働環境の改善に努めなければならない。</p> <p>第112条 打合せ等</p> <p>5. 打合せ（<del>対面</del>）の想定回数は、特記仕様書又は数量総括表による。</p> <p>第118条 成果物の提出</p> <p>4. 受注者は、測量成果電子納品要領（国土交通省・令和3年3月）（以下「要領」という。）に基づいて作成した電子データにより成果物を提出するものとする。</p> <p>「要領」で特に記載が無い項目については、監督職員と協議のうえ、決定するものとする。</p> <p>なお、電子納品に対応するための措置については「電子納品運用ガイドライン【測量編】（国土交通省・令和3年3月）」に基づくものとする。</p> <p>第140条 保険加入の義務</p> <p>1. 受注者は、雇用保険法、労働者災害補償保険法、健康保険法及び厚生年金保険法の規定により、雇用者等の雇用形態に応じ、雇用者等を被保険者とするこれらの保険に加入しなければならない。</p> <p>2. 受注者は、現場作業が発生する場合は、法定外の労災保険に付さなければならない。</p>	<p>第103条 受発注者の責務</p> <p>受注者は契約の履行に当たって調査等の意図及び目的を十分に理解したうえで調査等に適用すべき諸基準に適合し、所定の成果を満足するような技術を十分に発揮しなければならない。</p> <p>受注者及び発注者は、業務の履行に必要な条件等について相互に確認し、円滑な業務の履行に努めなければならない。</p> <p>第112条 打合せ等</p> <p>5. 打合せ（対面）の想定回数は、特記仕様書又は数量総括表による。</p> <p>第118条 成果物の提出</p> <p>4. 受注者は、測量成果電子納品要領（国土交通省・令和3年3月）（以下「要領」という。）に基づいて作成した電子データにより成果物を提出するものとする。</p> <p>「要領」で特に記載が無い項目については、監督職員と協議のうえ、決定するものとする。</p> <p>なお、電子納品に対応するための措置については「電子納品運用ガイドライン【測量編】（国土交通省・平成30年3月）」に基づくものとする。</p> <p>第140条 保険加入の義務</p> <p>受注者は、雇用保険法、労働者災害補償保険法、健康保険法及び厚生年金保険法の規定により、雇用者等の雇用形態に応じ、雇用者等を被保険者とするこれらの保険に加入しなければならない。</p>	

(R5)